

中期経営計画

2016－2020

“ビジョン2025”達成のための5年間の計画

2015年12月

北海電気工事株式会社

目次

はじめに

1. 当社をとりまく経営環境
2. 当社がかかえる経営課題
3. 基本方針
4. 成長戦略 ～強化と挑戦～
5. 企業体質のさらなる強化
6. 2020年度目標

おわりに

はじめに

当社創立70周年の節目である2014年度に初の赤字決算となった。その要因としては、当社売上高の7割近くがグループ本社からの受注であり、グループ本社の経営状況が当社に大きく影響する受注構造になっていることがあげられる。これを受けて、2015年度は、2014年度のような受注状況においても耐えられる強靱な企業体質を目指し、また電力システム改革の進展に的確に対応していくために業務構造改革をスタートさせた。これからは、当社の経営基盤である電力分野（電力サポート事業）を基軸としながらも、既存事業の領域とエリアの拡大に積極的に取り組むとともに、新たな事業分野にも挑戦し、顧客と事業分野の多様化を図り、経営環境の大きな変化にも柔軟かつ迅速に対応しながら利益を創出できる企業を目指していく。

今般ビジョン2025である『優れた技術と誠意で、お客さまに選ばれ、信頼される総合設備企業として発展し、地域・社会に貢献する。』ことを受けて、ビジョン達成のための土台作りの5年間として中期経営計画を策定した。各室部店所は業務運営計画に反映して具体的な取り組みを進めていきたい。

取締役社長
大 房 孝 宏

1. 当社をとりまく経営環境

① 電力システム改革の進展とほくでんの経営状況

- ・ 送配電部門法的分離に伴う電気事業体制の変革
- ・ 託送料金規制および泊発電所稼働後の電気料金値下げに向けたほくでんの設備投資の状況変化

② エネルギー関連技術（発生と利用）の多様化

- ・ 北海道における再生可能エネルギー導入等の限界

③ 建設コストの高騰と就労人口の減少

- ・ 建設コスト高騰による原価高騰
- ・ 人材確保難に伴う技術・技能の維持継承難

2. 当社がかかえる経営課題

① 電力システム改革などへの適切かつ積極的な対応

- 送配電部門法的分離に伴う電気事業体制変革への対応
- 託送料金規制に向けた送配電部門の設備投資の状況変化への対応

② 事業領域拡大と事業構造転換

- 既存分野の強化と事業領域の拡大を推進
- 再生可能エネルギー関連工事に代わる新たな持続可能な事業構造への転換を推進（メンテナンス事業の推進・新たな事業の開拓）

③ 企業体質強化のさらなる推進

- 建設コストの高騰と人材確保難への対応
- 業務構造改革の着実かつ継続的な実施

3. 基本方針

- ほくでんグループの一員として、電力システム改革への適切かつ積極的な対応を通じて電力の安定供給に貢献する。
- エネルギー・トータル・ソリューションを展開するとともに、新たな事業を開拓し、総合設備企業として、さらなる発展を目指す。
- 企業体質のさらなる強化を図る。

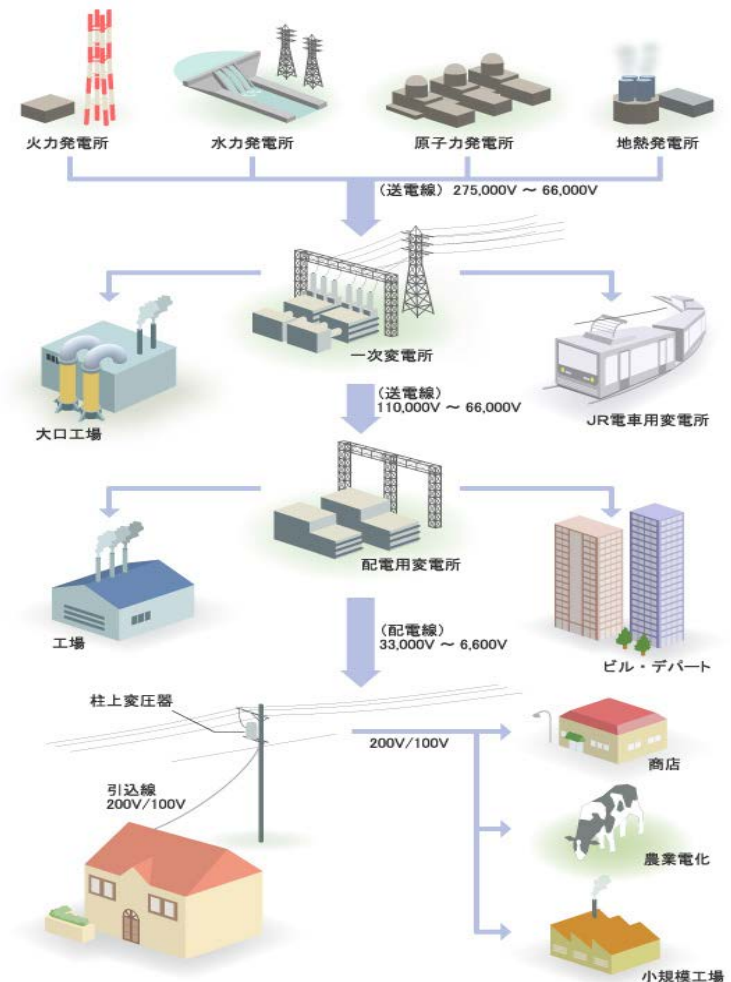
4. 成長戦略 ～強化と挑戦～

- (1) 電力分野の強化・充実
- (2) 事業領域の拡大と新たな事業の開拓
- (3) エネルギー・トータル・ソリューションの展開と挑戦

4. 成長戦略 ～強化と挑戦～

(1) 電力分野の強化・充実

電力システム改革を電力分野の基盤強化のチャンスととらえ、今後予想される競争環境の中での競争力・営業力の強化、技術・技能の向上、人材育成、施工力の確保を図り、ほくでんグループの一員として電力の安定供給に貢献する。



4. 成長戦略 ～強化と挑戦～

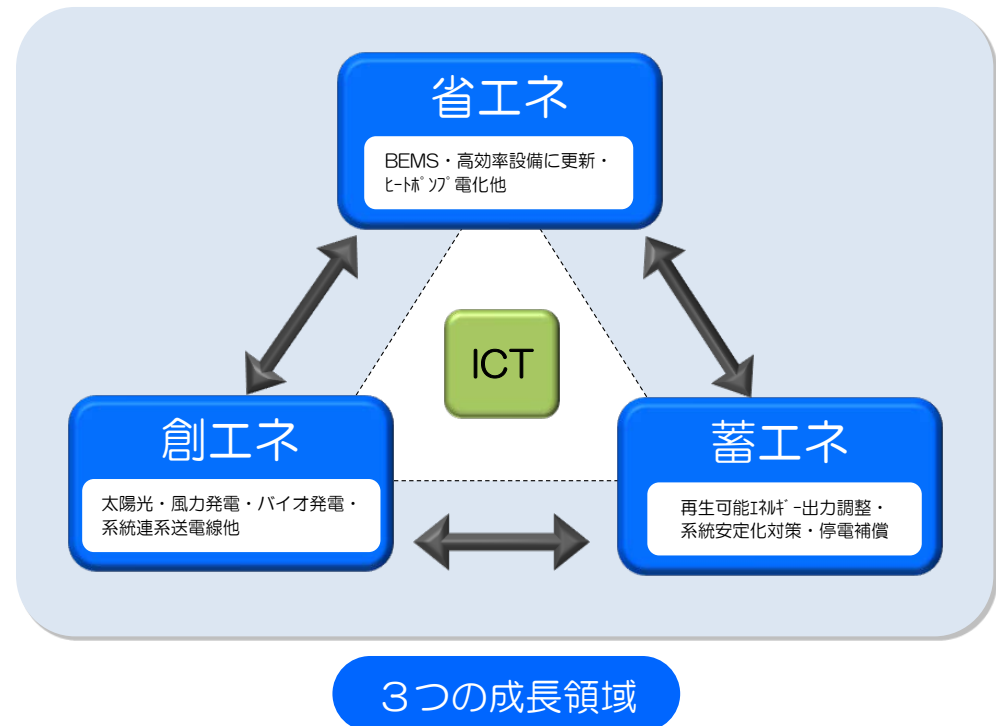
(2) 事業領域の拡大と新たな事業の開拓

- ① 営業力強化・競争力強化の推進
 - 能動的に仕事を生み出す提案型技術営業の強化・推進
 - 競争力強化に向けた営業戦略の抜本的な見直し
 - 営業情報収集力の強化
- ② 事業領域・事業エリアの拡大
 - 既存事業領域の拡大（顧客の多様化）
 - 道外への進出
- ③ 企業提携の検討
 - 当社と相乗効果を生み出す業務提携やM&Aの活用
- ④ 新規事業の展開
 - 既存事業領域を超えた事業分野への進出（事業分野の多様化）
 - シーズから関わることによる新たな事業の開拓

4. 成長戦略 ～強化と挑戦～

(3) エネルギー・トータル・ソリューションの展開と挑戦

- 省エネ・ソリューション
 - BEMSサービス
 - 高効率機器への更新
 - HP電化推進
- 創エネ・ソリューション
 - 新エネルギー系統連系設備等の建設・メンテナンス
- 蓄エネ・ソリューション
 - 再生可能エネルギー系統安定化対策
 - 無停電化対策



BEMS : Building Energy Management System の略、ビルエネルギー管理システムのことを指す。

HP : Heat Pump(ヒートポンプ) の略、熱媒体や半導体を用いて低温部分から高温部分へ熱を移動させる技術のことを指す。

新エネルギー : 再生可能エネルギーに産業廃棄物や天然ガスコージェネレーション発電および燃料電池などのエネルギーを指す。

再生可能エネルギー : 太陽・地球物理学的・生物学的な源に由来し、自然界によって利用する以上の速度で補充されるエネルギー全般を指す。

ICT : Information and Communication Technologyの略、情報通信技術を指す。

5. 企業体質のさらなる強化

(1) 業務構造改革の着実かつ継続的な推進

★前述の「電力システム改革による当社経営環境への対応」、「電力外受注の拡大による経営の安定化」のほか、「経営安定化を目指した収支改善」、「構造改革による低コストかつ高収益な企業体質への脱皮」、「経営課題の共有による全社員の改革ベクトルの一致」の5大目標の達成に向け、着実かつ継続的な推進

(2) 労働安全・施工品質の確保

★社員一人ひとりの強い意志による確固たる安全文化の醸成

★安全衛生品質マネジメントシステムの効果的な活用

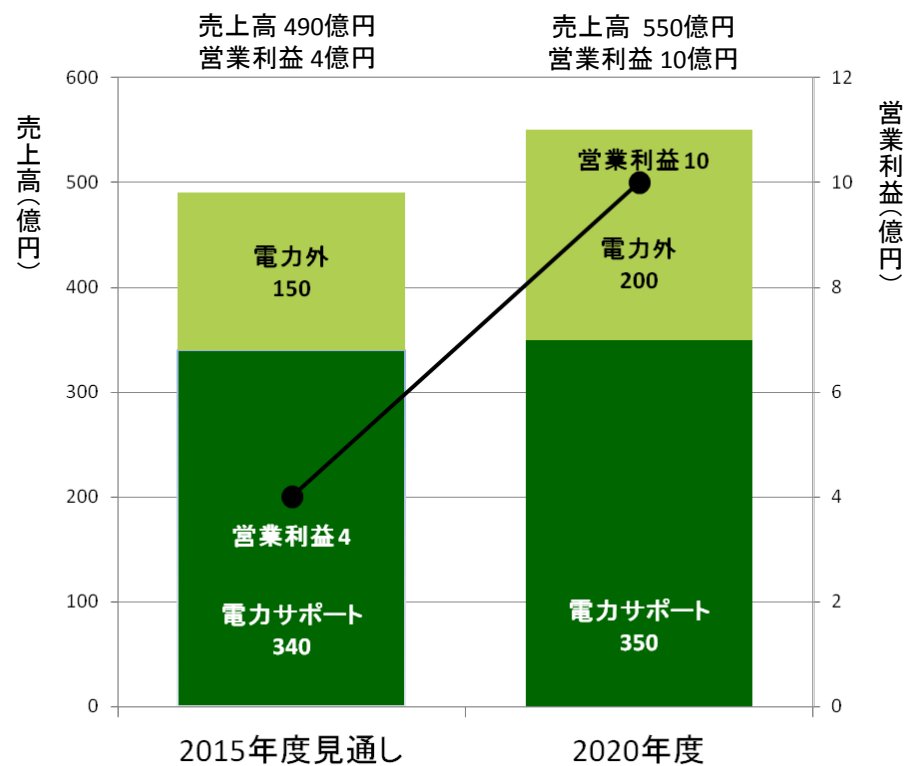
(3) 人材確保および人材育成と技術・技能の向上

★採用活動の強化と離職者対策の推進

★技術・技能の向上と多能型技術者の育成を目的とした新たな人材育成システムの構築

6. 2020年度目標

2020年度目標	
売上高	550億円
営業利益	10億円



おわりに

電力システム改革は電気事業の構造を根本的に変革するたいへん衝撃的な出来事です。電気事業体制の変革、競争環境の拡大、託送料金規制に向けた電力流通設備への投資状況の変化等に柔軟に対応していく必要があります。このため、当社は、これまでどおり、ほくでんグループの一員として、電力流通設備の工事・保守を中心とした電力分野（電力サポート事業）に基軸を置き、電力の安定供給に貢献するという社会的使命を果たしながらも、積極的に一般分野における事業領域と事業エリアの拡大に取り組み、さらには新規事業へも挑戦し、お客さまから選ばれ、信頼される総合設備企業を目指します。これからこの目標達成に向かって、全社員が力をひとつに合わせ、全力で取り組んでいきましょう。